

社会福祉法人 いきいき牧場
障害者就労支援事業所
のびやか丸
盛岡市川目6-93-4

企業、商店街、行政などと 協力体制を整え 社会参画の機会を増やす



企業から受託した養生ゴムシートの洗浄作業

市国体推進局から花苗の育成 管理を受託

希望郷いわて国体（本大会）開幕まで1年余り。盛岡市の障がい者就労支援事業所のびやか丸では、昨年9月に盛岡市国体推進局から、国体を象徴する花「マリーゴールド」など約1万鉢の育成管理を受託。

これまで5棟のビニールハウスで大切に育成管理してきました。

育てられた岩根多喜男専務理事・施設長は、「保護者会や支援者の皆さんのおかけもあり、地元企業や商店街等との協力体制が整ってきました。また、障がい者の工賃・賃金引き上げに向けた国の優先調達推進法による官公需の推進も弾みとなっています。待ちの姿勢ではなく、景気動向に左右されない事業を創

花苗（マリーゴールドとベゴニア）は、6月下旬に市内38か所の町内会、自治会に合計2,364鉢が届けられました。また、10月には花苗（パンジーとビオラ）1,759鉢が、市内29か所の保育園や学校などに届けられます。栽培された花苗は市内の児童公園や町内会の緑化事業にも活用され、産直などでも販売しています。

「のびやか丸」では市公園みどり課から上の橋町のカキツバタ園の管理作業を委託し、また、昨年暮れには市林政課とハートフルワークから、街中を飾る直径2m～50cmまでのクリスマスリース約70個の制作を受託。市民の目を楽しませました。

キーワードはスローライフと 自然との共生

平成5年に開設された「いきいき牧場」（白澤國雄理事長）は、スローライフと自然との共生をキーワードに、「共に」「同じ物差し」「暖かい心」の3つを運営の根幹としています。

広さ約5,000坪の牧場敷地

内に建つ精神障がいを中心とした

就労支援事業所のびやか丸（※

就労移行支援事業と就労継続支援事業B型の通

所施設）には、毎日、約30名の利用者が市内4か所のグループホームなどから通ってきます。主な仕事は花苗、有機低農薬野菜、リンゴジュースなどの生産・加工・販売です。企業からの委託で、養生ゴムシート洗浄作業や産業廃棄物中間仕分けなども行っています。



収穫したタマネギ

ビニールハウスで大切に育成管理するマリーゴールド



牧場での作業



岩根多喜男
専務理事・施設長



吉田浩二
主任職業指導員

相談支援事業所「きく丸」には、職員3名が配置されています。

平成25年に市中心部に開設した相談支援事業所「きく丸」には、障がいを持つ方の希望を聞きながら「サービス等利用計画」を作成し、障がい者が地域で暮らしていくための支援や相談に手厚く応じています。